

# 学生提案

## 西区区制50周年、 記念ロゴマーク

### 北海道科学大学

5月10日、北海道科学大学（札幌市）の中央棟エントランスホールで「西区区制50周年記念ロゴマークデザイン発表式」が執り行われ、同大の学生によるプロジェクトチームがデザインを手がけた札幌市西区の区制50周年記念ロゴマークが披露された。



式典には川上敬学長や坪田靖西区長も出席した

これは、今年4月1日に札幌市西区が誕生して50周年を迎えたことを記念して、西区が同大の未来デザイン学部メディアデザイン学科・倉本浩平准教授に、区制50周年のシンボルとなる記念ロゴマークのデザイン制作を依頼したものだ。

倉本准教授は学生を交えてプロジェクトチームを発足。同学科の学生17人は倉本准教授の指導のもと、区制50周年のテーマである「西区の歴史、魅力、未来」

西区区制50周年記念ロゴに選出されたデザイン



を軸に、七つのロゴマークデザイン案を作成した。

西区は3月25日～4月25日の期間、七つのロゴマークデザイン案について、公式ウェブサイトの投票専用フォームなどから投票を受け付け。全国の3509人が投票に参加した。その結果、最多票を獲得した同学科2年・齊藤郁彌さん（北海道常呂高等学校出身）が

原案を手がけたデザインが、50周年記念ロゴマークに選出された。

選出されたロゴマークのコンセプトは、50の形をしたリボンに、同区の観光スポットである三角山が巻かれているというもの。原案を手がけた齊藤さんは「このデザインが、西区や札幌市のみなさんの気持ちを一つにつなぎ、次の未来と一緒に描きつけかけになれば嬉しく思います」と、喜びを語った。

同式典では、札幌市西区の坪田靖区長から学生に感謝状が贈られたほか、北海道科学大の川上敬学長から区制50周年への祝辞と学生の活躍について健闘を称える言葉が述べられた。

今回決定したロゴマークのデザインは、西区区制50周年記念関連事業のほか、さまざまな場面で活用される予定だ。